

令和3年9月25日

全国大学音楽教育学会関西地区学会

会員の皆様へ

全国大学音楽教育学会関西地区学会  
会 長 山 岸 徹  
事務局長 永 井 正 幸

## 全国大学音楽教育学会 関西地区学会 令和3年度 総会のご報告、及び新役員のご紹介

全国大学音楽教育学会関西地区学会令和3年度総会を9月12日（日）、三木楽器開成館にて開催しました。

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令されている中でしたが、当日の出席者数と委任状を合わせて関西地区学会の過半数となり、総会は成立しました。（会員数：115名、出席者：13名、委任状：49通）当日は、出席者の皆様の貴重なご意見を交換できる場となりました。総会の内容につきまして、以下のとおりご報告いたします。

### （1）全国大会の報告（山岸）

- ・8月27日（金）、第36回全国大会（オンライン開催、関西地区学会主管、配信拠点は大阪キリスト教短期大学）を滞りなく終えることができた。梶田叡一先生（現在は聖ウルスラ学院理事長）による基調講演に続き、15件の研究口頭発表が行われた。
- ・全国から100名を超える方々にご参加いただき、終了後は多くの方々よりお礼のメールをいただいた。
- ・大会実行委員（関西地区学会役員）11名のほか、15名の方々に「大会運営スタッフ」としてご協力いただいた。

### （2）新入会員のご紹介（山岸）

- ・当日出席された新入会員の田中一花先生（大阪成蹊大学）のご紹介。

### （3）理事会（全国）報告（山岸）

- ・全国の理事会は年2回の開催であるが、コロナ禍のために昨年度より遠隔（メール会議）方式によって開催されている。
- ・2020年度後期理事会（2021年3月22日～28日）では、決算報告、予算案、会則改定、研究紀要の規程、研究紀要委員の規程などが議題として挙げられた。
- ・2021年度前期理事会（2021年8月6日～13日）では、第36回全国大会関係の確認、紀要第33号の発刊、地区学会研究会の周知、学会ホームページ、会員名簿の発行、40周年記念事業、紀要編集委員、感謝状の贈呈、選挙管理委員会、2021年度後期理事会（3月6日）などが議題として挙げられた。
- ・第37回全国大会は、中・四国地区学会主管として倉敷市で開催される（2022年8月25日～27日の予定）。

### （4）令和2年度活動報告（山岸）

- ・令和2年度総会（2020年7月26日、大阪市立総合生涯学習センター）：第36回全国大会が1年延期されたことに伴い、関西地区学会役員の任期を1年延長し、全国大会終了時までとすることが承認された。
- ・「関西地区学会 Zoom ミーティング方式による研究会 ～with コロナ時代の音楽授業のあり方～」を開催した。（2020年8月29日）
- ・令和2年度後期研究会（2021年1月10日、Zoom ミーティング方式）：関西地区学会会員による研究口頭発表2件、基調講演は山本淳子氏（大阪キリスト教短期大学学長）
- ・関西地区学会誌第2号を発刊した（2021年6月10日）。
- ・役員会は計14回、主に Zoom ミーティング方式で開催した。

### （5）令和2年度決算報告（金井、篠原）

- ・配布された令和2年度決算報告書をもとに、会計担当（金井役員）より説明された。
- ・会計監査（篠原会計監査担当）より相違ないことが報告された後、承認された。

## (6) 令和3年度活動計画(案)(山岸)

- ・2022年1月に後期研究会を開催予定であること、詳細については本日の役員選挙後、新役員によって決定される予定であることが説明された。
- ・関西地区学会誌は隔年での発刊のため、次号は令和5年の発刊予定となることが説明された。

## (7) 令和3年度予算(案)(金井、岡田)

- ・配布された令和3年度予算案をもとに、会計担当より説明された。
- ・全国大会の決算については、2022年1月の後期研究会で臨時総会を併せて開催し、そこで報告する予定である。
- ・現段階の概要としては、全国大会プログラムをWeb上の掲載のみとしたこと、基調講演の撮影費用などが発生しなかったなどの理由により、当初の予定より経費が大幅に削減できたため、29万円程度の黒字となっている。当初、関西地区学会会計から25万円が補填されているため、この黒字額をそのまま関西地区学会会計に繰り入れる予定であることが説明された。

## (8) 関西地区学会の会費の改定について(山岸)

- ・現在の年会費は7,000円となっているが関西地区学会会計としてかなりの余剰金が発生している。その主な理由は、コロナ禍のために研究会や会議が遠隔方式となり、会場費などの経費が発生しなかったためである。以上の理由により関西地区学会年会費を令和4年度1年間に限り5,000円に減額とすることが提案され、承認された。

## (9) 関西地区学会役員の任期と改選について(山岸)

- ・関西地区学会会則第5章第10条～14条を読み上げ、関西地区学会役員の選出方法について以下のように説明された。
- ・コロナ禍のため、郵送による選挙を行う案も検討したが、全国大会の準備を並行して行わなければならない、ルール作りから実際の作業まで役員に過度の負担がかかることなどの理由から実現できなかった。そもそも選挙に関する明確な規程もないため、今後次期役員で検討することとした。
- ・役員選挙は本日の総会の最後に実施する。本日の選挙では、投票用紙に各自10個の○を付けることとし、投票後直ちに開票する。開票作業は、桐山・丸井・篠原各先生方が担当する。以上、山岸会長より報告、説明された。

## (10) その他

- ・余剰金が発生していることに関連して、関西地区学会は演奏を専門とする会員が多いため、研究発表の場として今後、演奏会を企画してもよいのではないかとの意見が出された。→次期役員による検討事項の一つとする。
- ・今回の役員選挙で選出された新役員メンバーについては、後日事務局から地区学会会員にお知らせすることとする。以上、山岸会長・桐山副会長より報告・提案、承認された。

## (11) 役員選挙結果、及びその後の役員会の結果

- ・出席者による投票の結果、以下の10名が新役員として選出され、その後の役員会で新役員の役割が以下のように決まった。また、次いで得票数の多かった2名に会計監査をお願いすることとなった。任期は2年間である。

(以下、敬称略)

会 長：山岸 徹 (大阪キリスト教短期大学) \*Webページ担当兼務

副 会 長：桐山 由香 (和歌山信愛大学) \*引き継ぎなどの諸事情により令和4年度より事務局長  
丸井 理恵 (常磐会学園大学)

事務局長：永井 正幸 (大阪青山大学) \*引き継ぎなどの諸事情により令和4年度より副会長

会 計：篠原 美幸 (大阪教育大学)

常任委員：岡田 知也 (香川大学) \*第36回全国大会会計兼務(事後作業)

金井 秋彦 (大阪信愛学院短期大学)

衣川 久美子 (幼保連携型認定こども園 神戸夢)

安川 裕子 (神戸女子短期大学) \*入退会担当

山本 敬子 (佛教大学)

会計監査：川畑 尚子 (大阪キリスト教短期大学)

福間 久美 (関西女子短期大学)